



北大総合博物館主催
土曜市民セミナー
北海道の水圏研究
道民カレッジ連携講座



「水の都」札幌—コトニ川を尋ねて

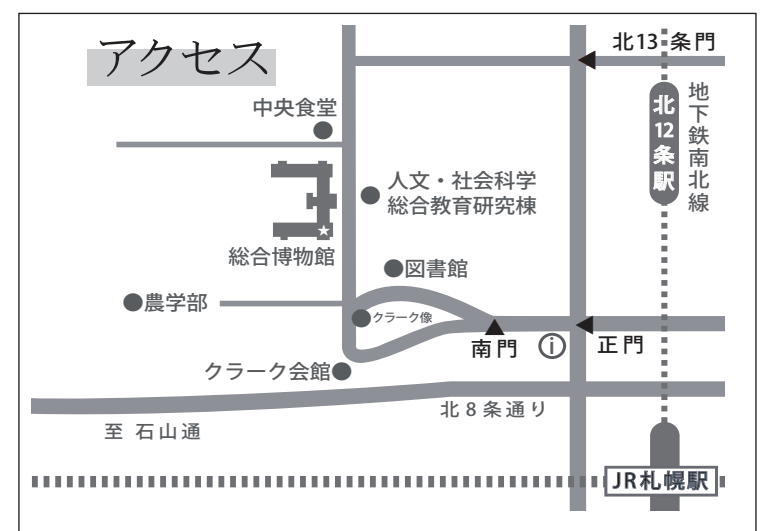
2019
5/11 土
13:30 ~ 15:00

講師 宮坂 省吾
北海道総合地質学研究センター

入場無料・申込不要

会場

北海道大学総合博物館 1階
「知の交流」



140 ~ 150 年前の開拓使時代まで札幌中心街には小川が幾筋もあり、メム（湧泉池）から湧き出る水は扇状地を刻んで流れ、コッネイ（コトニ川）と呼ばれていました。その支流のサクシコトニ川とチェプンペツ（セロンペツ）川が、北大構内にありました。そこは「鮭の道」で、コタンの人たちはカムイチェプ（神の魚）として食べていたのです。

後に開拓使が「桑園」として開拓した土地は、アイヌのコタンのテリトリーでした。札幌の建設が進むほどに、アイヌの人たちは去り、たくさんあった小川や沼そしてメムも失われました。

失われた川の風景を、札幌農学校の写真や開拓使の古地図などで探索してみましょう。

お問合せ



TEL : 011-706-2658
<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>